

第6期

第2四半期報告書

自 平成20年 4月1日—至 平成20年 9月30日



株式会社 間組

目 次

株主の皆様へ	1
ハザマグループの営業の概況	2
第2四半期連結財務諸表	4
主な完成工事	6
株式の状況	7
役員	9
会社の概況	10
本店・支店および海外ネットワーク	11
株主メモ	12

表紙：滝川ダム（福島県）

福島県富岡地区の農地(818ヘクタール)は、農業用水を、流況が極めて不安定な河川や溜池に頼ってきたため、しばしば水不足に見舞われていました。滝川ダムにより、農業用水が安定供給され、地域の発展が期待されます。当社は工事から出る伐採材をチップ化し、土壌被覆材や牛舎の敷きわらとして代用したり、掘削残土を常磐道富岡インター工事の盛土材として有効利用するなど、「資源循環型社会づくり」への取り組みを行いました。

(平成20年6月竣工)

株主の皆様へ

代表取締役社長 小野俊雄



株主の皆様にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ハザマグループ第6期第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の営業の概況のご報告に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

ご高承のとおり、当社グループは今年度より「新時代に『ハザマを築く』」をテーマに掲げる「ハザマ第3次中期計画」を鋭意遂行中です。お蔭様をもちまして、計画初年度の当第2四半期連結累計期間の当社個別の受注は、土木事業が国内官庁・民間とも順調で、当社の得意とする大型工事を着実に受注いたしました。一方で建築事業は、景気減速と不動産市況悪化の環境の下で、期首予想を下回ることとなりましたが、土木・建築合計では期首予想を上回ることができました。これにより、前年同期に比べ手持ち工事が23%程度増加するなど、将来に向けて足取りを一步一步確実なものとしてきています。また、利益面では、施工管理・現場支援に注力し、安全・品質・採算性を重視した取組みを行なった結果、土木工事の利益率が若干低下したものの、建築工事の利益率が改善したことなどにより、期首に予想していた営業利益を確保するとともに、経常利益・四半期純利益につきましては予想を上回り、黒字とすることができました。このように、「採算性を最優先に事業規模を確保」を骨子とする「ハザマ第3次中期計画」の施策を順調に進捗させることができました。

株主の皆様には、当社グループを取り巻く建設市場が大変厳しい状況下にあることもあり、当社株価が低迷し、大変なご迷惑とご心配をおかけしております。世界的な金融収縮と実態経済の減速により景気の下ぶれも懸念されるところではありますが、当社グループは、引き続き、将来の環境変化を見据えつつ、「ハザマ第3次中期計画」を確実に遂行することにより、企業経営の根幹をなす継続的な企業価値の向上を図ることで、株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。

全役員・従業員一体となってお一層の努力をしておりますので、株主の皆様におかれましては何卒更なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ハザマグループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国発の世界的な金融収縮に端を発する海外経済の減速の影響により、民間設備や雇用に過剰感が広がり、景気後退懸念が強まっております。

当社グループの主たる建設産業におきましても、民間設備投資に弱りが見えてくるとともに、特に不動産市況の悪化により住宅・オフィス等の投資が縮小し、官庁建設投資も依然として長期的な減少傾向にあります。また、建設業者間の受注競争激化や、建設コスト増が収益の圧迫要因となっており、建設業界をとりまく経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような極めて厳しい建設市場の下で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業況は、受注高(個別ベース)においては建築工事で景気減速等の影響があったものの、国内土木大型工事の受注が順調であったことから前年同期に比べ22億円(2.0%)の若干の減少に留まりました。売上高は土木工事の着工の遅れがあったため、前年同期に比べ19億円(1.9%)の微減となりました。また、利益面では、土木工事においては過年度に受注した競争案件による影響はありますが、建築工事においては資機材・労務費高の影響を最小限に留めたこと、ならびにコスト管理の徹底により、ほぼ予定どおりの利益となりました。

なお、期首に公表させていただいている第2四半期業績予想対比では、「ハザマ第3次中期計画」の諸施策遂行の中で、受注高が184億円(20.5%)増加し、営業利益はほぼ予定どおり、四半期純利益は4億円(期首公表2億円)増加しております。

以上により、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,012億円、営業利益8億円、経常利益3億円、四半期純利益は2億円となりました。

当社グループにおける各部門の概況は次のとおりであります。

(建設事業)

受注高は1,084億円となりました。事業別の内訳は、土木48.7%、建築51.3%、また、官公庁 29.3%、民間 70.7%であります。なお、海外工事は14.8%であります。

(注)受注高等は個別ベースで記載しております。

主な受注工事は、国土交通省東北地方整備局:津軽ダム本体建設(第1期)工事、NGKセラミックス・メキシコ:日本ガイシモンテレイ工場建設工事であります。

完成工事高は959億円、営業利益は10億円となりました。

主な完成工事は、首都高速道路株式会社: SJ62工区(1)トンネル工事、HONDA VIETNAM Co.,Ltd.:ホンダベトナム2輪第2工場増築工事であります。

(その他事業)

その他の事業売上高は53億円、営業利益は1億円となっております。

当第2四半期累計期間の部門別受注高・売上高・繰越高(個別ベース)

(単位:億円)

区 分	期首繰越高	期中受注高	期中売上高	期末繰越高
建設事業	土 木 (1,500) 1,508	528	467	1,569
	建 築 (833) 834	556	472	918
	計 (2,334) 2,342	1,084	939	2,488
その他の事業	-	-	5	-
合 計	(2,334) 2,342	1,084	944	2,488

(注)1.期首繰越高欄の上段()内表示額は、前期における期末繰越高を表し、下段表示額は為替の影響を受ける海外工事について換算修正したものであります。

2.その他の事業につきましては、受注生産の形態をとっておりませんことから、売上高以外の計数は表示しておりません。

主な受注工事

発注者(敬称略)	工事名
国土交通省東北地方整備局	津軽ダム本体建設(第1期)工事
国土交通省九州地方整備局	宮崎10号祝子トンネル新設工事
阪急電鉄(株)	京都線・千里線淡路駅周辺連続立体交差工事のうち土木関係工事(第7工区)
NGKセラミックス・メキシコ	日本ガイシモンテレイ工場建設工事
(株)ROKI	ROKI九州新工場建設工事

主な完成工事

発注者(敬称略)	工事名
首都高速道路(株)	SJ62工区(1)トンネル工事
福 島 県	かんがい排水(一般型)第1401号工事富岡地区(滝川ダム本体工事)
中日本高速道路(株)	近畿自動車道(紀勢線)紀勢大宮トンネル工事
HONDA VIETNAM Co., Ltd.	ホンダベトナム2輪第2工場増築工事
(独)国立病院機構別府医療センター	独立行政法人国立病院機構 別府医療センター病棟等建替整備工事(建築)

第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表

(平成20年9月30日現在)

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年 9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年 3月31日)
資 産 の 部		
流 動 資 産	126,751	119,687
現 金 預 金	30,471	26,021
受取手形・完成工事未収入金等	56,643	55,310
未 成 工 事 支 出 金	14,923	12,718
立 替 金	14,957	15,253
そ の 他	9,762	10,394
貸 倒 引 当 金	7	10
固 定 資 産	38,717	39,579
有 形 固 定 資 産	21,768	22,045
無 形 固 定 資 産	313	334
投資その他の資産	16,634	17,200
投 資 有 価 証 券	12,289	12,778
そ の 他	4,506	4,572
貸 倒 引 当 金	160	151
資 産 合 計	165,468	159,267

負 債 の 部		
流 動 負 債	124,660	113,944
支払手形・工事未払金等	52,743	56,574
短 期 借 入 金	28,296	14,151
未 成 工 事 受 入 金	22,085	19,429
預 り 金	17,485	19,465
そ の 他	4,049	4,323
固 定 負 債	10,251	14,198
長 期 借 入 金	4,870	9,136
退 職 給 付 引 当 金	5,160	4,850
そ の 他	220	211
負 債 合 計	134,911	128,143

純 資 産 の 部		
株 主 資 本	29,300	29,590
資 本 金	12,000	12,000
資 本 剰 余 金	9,000	9,000
利 益 剰 余 金	8,368	8,598
自 己 株 式	67	7
評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,207	1,490
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,209	1,496
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1	5
新 株 予 約 権	48	42
純 資 産 合 計	30,556	31,123
負 債 ・ 純 資 産 合 計	165,468	159,267

(注)

有形固定資産の減価償却累計額	19,000	19,009
----------------	--------	--------

連結損益計算書

(自 平成20年4月1日～至 平成20年9月30日)

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前中間連結会計期間
	(自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)	(自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)
売 上 高	101,287	103,246
完 成 工 事 高	95,909	95,887
そ の 他 の 事 業 売 上 高	5,378	7,359
売 上 原 価	94,378	96,246
完 成 工 事 原 価	89,451	89,448
そ の 他 の 事 業 売 上 原 価	4,926	6,798
売 上 総 利 益	6,908	6,999
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,058	5,515
営 業 利 益	850	1,484
営 業 外 収 益	222	216
営 業 外 費 用	676	1,141
経 常 利 益	395	558
特 別 利 益	99	344
特 別 損 失	69	182
税金等調整前四半期(中間)純利益	426	721
法 人 税 等	224	596
四半期(中間)純利益	202	124

(注)

1株当たり四半期(中間)純利益	1円51銭	0円76銭
-----------------	-------	-------

連結キャッシュ・フロー計算書

(自 平成20年4月1日～至 平成20年9月30日)

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前中間連結会計期間
	(自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)	(自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,181	17,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	681	41
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,386	9,380
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	105
現金及び現金同等物の増減額	4,941	8,743
現金及び現金同等物の期首残高	25,528	27,103
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	30,469	18,359

主な完成工事



[完 成]
SJ62工区(1)トンネル工事
[工 期]
平成12年9月～平成20年8月

[完 成]
近畿自動車道(紀勢線)
紀勢大宮トンネル工事
[工 期]
平成17年1月～平成20年6月



[完 成]
第二東名高速道路富士宮工事
[工 期]
平成16年9月～平成20年8月

[完 成]
ホンダベトナム2輪第2工場増築工事
[工 期]
平成19年7月～平成20年7月



[完 成]
独立行政法人国立病院機構
別府医療センター病棟等建替整備工事
[工 期]
平成19年4月～平成20年5月

株式の状況

(平成20年9月30日現在)

株式の発行

発行済株式総数

普通株式	100,000,000株
第1種優先株式	750,000株
第2種優先株式	875,000株
第3種優先株式	875,000株
第4種優先株式	250,000株
1単元の株式の数	100株

株主の総数

当第2四半期末現在の株主総数	38,256名
	(うち優先株主3名)
前期末比	2,136名減少

普通株主

(上位10社)

株主名	所有株式数	株式数比率
安藤建設株式会社	10,000千株	10.00%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,406	4.40
朝日生命保険相互会社	2,548	2.54
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,404	2.40
昭和地所株式会社	2,072	2.07
ハザマグループ従業員持株会	2,011	2.01
アイビージェアジアセキュリティーズ エルティティークライアントアカウント	1,841	1.84
ハザマ取引先持株会	1,839	1.83
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社信託口4	1,656	1.65
シービーエヌワイディエフエイインター ナショナルキャップバリュースポーツ	1,583	1.58

優先株主

(第1種優先株式～第4種優先株式)

株主名	所有株式数
株式会社みずほコーポレート銀行	1,562.5千株
三菱UFJ信託銀行株式会社	937.5

(第5種優先株式)

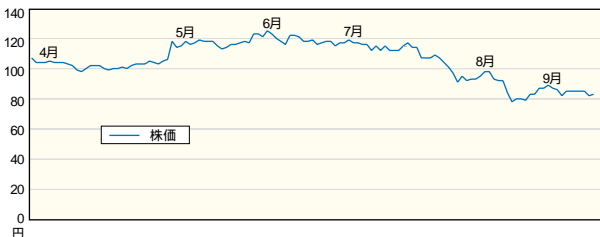
株主名	所有株式数
安藤建設株式会社	250千株

新株予約権

安藤建設株式会社に対し、普通株式12,500,000株を目的とする新株予約権を割当しております。

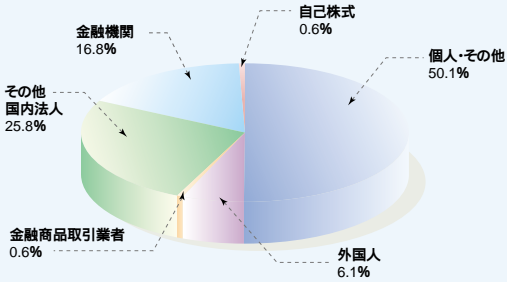
また、当社取締役、幹部社員を対象としたストック・オプション制度を実施しています。

株価の推移

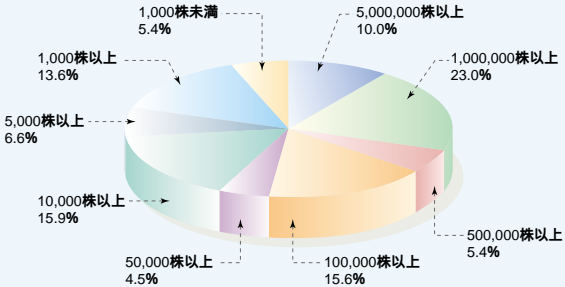


普通株式の分布状況

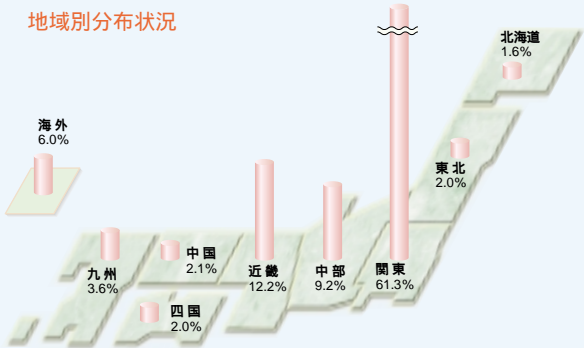
所有者別分布状況



所有株数別分布状況



地域別分布状況



役員

(平成20年9月30日現在)

取締役および監査役

代表取締役 社長	小野俊雄	取締役 常務執行役員	吉見憲一
代表取締役 副社長	穴戸道夫	取締役 常務執行役員	遠藤隆
代表取締役 副社長	芳野榮文	常任監査役 (常勤)	戸倉謙治
代表取締役 副社長	沓名俊久	監査役 (常勤)	石松英二
取締役 専務執行役員	早川次雄	監査役 (常勤)	田中力
取締役 常務執行役員	伊藤芳康	監査役 (非常勤)	野原馨

(注) 印は、『会社法』第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

専務執行役員	舟崎恒義	執行役員	横井博志
常務執行役員	大野睦雄	執行役員	青木繁信
常務執行役員	竹内克太	執行役員	古川康孝
常務執行役員	石田統八郎	執行役員	熊木徹
常務執行役員	金澤真一	執行役員	大谷正気
常務執行役員	肥後満朗	執行役員	木下寿昌
執行役員	上野敏光	執行役員	磯谷勢
執行役員	秋葉善美	執行役員	松本達広
執行役員	安原啓行	執行役員	岩淵伸一郎
執行役員	細川修		

会社の概況

(平成20年9月30日現在)

- 商号 株式会社 間組 (呼称:ハザマ)
英訳名:HAZAMA CORPORATION
- 創業 明治22年 4月1日
- 設立 平成15年 10月1日
- 資本金 120億円
会社が発行する株式の総数
1. 普通株式 3億9,725万株
2. 優先株式 275万株
発行済株式の総数
1. 普通株式 1億株
2. 優先株式 275万株
- 目的 1. 土木建築その他工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導の請負及び受託
2. 工事用品及び機械器具の供給
3. 不動産取引及び不動産、有価証券の保有並びに利用
4. 土壌の調査・浄化工事の請負、廃棄物の収集、処理、処分等の事業及びこれらに関するコンサルティング業務
5. 前各号に付帯する事業
6. 前各号に関連する事業を他と共同経営し又は他の事業に投資すること

従業員の状況 (就業人員ベース)

従業員数		平均年令	平均勤続年数
第2四半期末人員数	前期末比増減		
2,062名	52名	44.3才	19.9年

(注)平均勤続年数は、旧ハザマにおける勤続年数を通算して算出しております。

本店・支店および海外ネットワーク

本 店	〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5 ☎03-3588-5700
技術研究所	〒305-0822 つくば市苅間515-1 ☎029-858-8800
札幌支店	〒060-0001 札幌市中央区北一条西10-1-15ナリ札幌ビル ☎011-272-6500
東北支店	〒980-8640 仙台市青葉区片平1-2-32 ☎022-266-8111
北陸支店	〒950-0082 新潟市中央区東万代町1-22風間ビル ☎025-243-5577
関東土木支店	〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5 ☎03-3588-5950
東京建築第一支店	〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5 ☎03-3588-5900
東京建築第二支店	〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5 ☎03-3588-5930
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦2-5-5八木兵伝馬町ビル ☎052-204-1304
大阪支店	〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-8東洋紡ビル ☎06-6348-1122
四国支店	〒760-0040 高松市片原町11-1 ☎087-826-0826
広島支店	〒730-0051 広島市中区大手町5-3-18 YSビル ☎082-244-1241
九州支店	〒812-8562 福岡市博多区下呉服町1-1日通ビル ☎092-271-0172
国際事業統括支店	〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5 ☎03-3588-5850

海外ネットワーク

バンコック	ホーチミン	テグシガルバ
クアラルンプール	ハノイ	リマ
ジャカルタ	ピエンチャン	イスタンブール
ヤンゴン	プノンペン	
カトマンズ	オハイオ	
マニラ	メキシコシティ	

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711(通話料無料)

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

0120-244-479(通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	当社ホームページに掲載します。 http://www.hazama.co.jp/koukoku/ ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。

平成21年1月5日施行の株券電子化実施にともなうお知らせ

1. 特別口座について

(1) 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

(3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料)

(4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

2 株券電子化前後における単元未満株式買取のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

(1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付できません。また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

(2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、お取引の証券会社で取次ぎを行わない期間がございます。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

3 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えのうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名等は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。



2100



株式会社 間組

〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5

TEL.03-3588-5700

ホームページアドレス <http://www.hazama.co.jp>